

**平成30年度
第1回滝沢市国民健康保険
運営協議会
審議案件説明書**

滝沢市国民健康保険

平成 29 年度滝沢市国民健康保険特別会計決算について

1 歳入歳出決算の概要

平成 29 年度滝沢市国民健康保険特別会計の歳入歳出決算の状況は、歳入が 61 億 7,864 万 950 円、歳出が 59 億 828 万 4,888 円であります。

歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額は 2 億 7,035 万 6,062 円で、前年度に比べると 1,274 万 3,129 円（4.5%）減少しました。

歳入歳出差引額から平成 29 年度療養給付費等負担金の返還金 3,925 万 1,223 円や平成 29 年度退職者医療給付費等交付金の返還金 664 万 7,425 円等の前年度返還金を差し引きし、予算調整を行った残額 2 億 2,108 万 5,000 円を財政調整基金に積み立てる予定です。

基金繰入金や繰越金、基金積立金を除いた実質収支額は 1 億 3,091 万 4,871 円で、前年度に比べると 8,207 万 5,300 円（38.5%）減少しました。

歳入歳出決算の概要

区分	平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
歳入決算額 a	6,178,640,950	6,155,125,033	23,515,917	0.4%
歳出決算額 b	5,908,284,888	5,872,025,842	36,259,046	0.6%
歳入歳出差引額 a-b=c	270,356,062	283,099,191	△ 12,743,129	-4.5%
基金繰入金	66,324,000	59,065,000	7,259,000	12.3%
繰越金	283,099,191	144,819,342	138,279,849	95.5%
基金積立金	△ 209,982,000	△ 133,775,322	△ 76,206,678	57.0%
小計 d	139,441,191	70,109,020	69,332,171	98.9%
実質収支額 c-d	130,914,871	212,990,171	△ 82,075,300	-38.5%

・今後の国保運営

歳出では、保険給付費は、平成 28 年度の診療報酬改定や薬価改訂・高額薬剤の引き下げの影響が大きく、対前年比で 2.5%減となり、2 年連続で前年度割れとなりました。全国平均でも対前年比で 2.2%減となり、2 年連続で前年度割れとなっております。

歳入では、保険給付費のうち 70 歳以上の前期高齢者の医療費が占める割合が大きくなっており、国庫支出金が減額となる一方で、前期高齢者交付金が大きく伸びました。

ただし、この前期高齢者交付金には、前々年度精算分として 2 億 3,362 万 8,384 円の追加交付分が含まれ、その金額は実質収支額を超える金額となっています。

社会保険診療報酬支払基金に係る前期高齢者交付金や後期高齢者支援金、介護納付金は、国保広域化により県が財政運営の責任者となったことで、平成 30 年度分からは県単位で精算されますが、平成 29 年度分までは市町村毎に精算が行われます。

よって、平成 29 年度分は平成 31 年度に前々年度分として精算されることから、その精算状況によっては国保財政に大きな影響を及ぼす可能性があるため、引き続き注意深く国保財政の運営を行っていく必要があります。

2 歳入決算の概況

平成29年度国民健康保険特別会計の歳入決算の状況は、予算現額 60 億 4,619 万 4000 円、調定額 63 億 3,708 万 6,258 円、収入済額 61 億 7,864 万 950 円、不納欠損額 1,015 万 3,480 円、還付未済額 126 万 2458 円、収入未済額 1 億 4,955 万 4,286 円であります。

- ・収入済額 61 億 7,864 万 950 円は、前年度より 2,351 万 5,917 円（0.4%）増加しました。
- ・不納欠損額 1,015 万 3,480 円は、前年度より 1,437 万 938 円（58.6%）減少しました。
- ・収入未済額 1 億 4,955 万 4,286 円は、前年度より 2,167 万 7,722 円（12.7%）減少しました。
- ・予算現額に対する収入済額の割合は 102.2%で、前年度を 1.0 ポイント上回りました。
- ・調定額に対する収入率 97.5%は、前年度より 0.6 ポイント上回りました。

歳入決算の概況

区分	平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	6,046,194,000	6,081,365,000	△ 35,171,000	-0.6%
調定額 b	6,337,086,258	6,349,085,628	△ 11,999,370	-0.2%
収入済額 c	6,178,640,950	6,155,125,033	23,515,917	0.4%
不納欠損額 d	10,153,480	24,524,418	△ 14,370,938	-58.6%
還付未済額 e	1,262,458	1,795,831	△ 533,373	-29.7%
収入未済額 b-c-d+e	149,554,286	171,232,008	△ 21,677,722	-12.7%
予算現額に対する収入率 c/a	102.2%	101.2%	1.0%	1.0%
調定額に対する収入率 c/b	97.5%	96.9%	0.6%	0.6%

収入済額 c内訳

区分	平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
国民健康保険税	981,252,228	1,020,809,607	△ 39,557,379	-3.9%
使用料及び手数料	756,002	801,557	△ 45,555	-5.7%
国庫支出金	1,170,956,469	1,364,864,501	△ 193,908,032	-14.2%
療養給付費等交付金	107,748,000	229,642,315	△ 121,894,315	-53.1%
前期高齢者交付金	1,705,708,344	1,384,481,522	321,226,822	23.2%
県支出金	320,356,576	280,289,278	40,067,298	14.3%
高額医療費共同事業交付金	121,899,200	176,068,837	△ 54,169,637	-30.8%
保険財政共同安定化事業交付金	1,031,354,658	1,134,758,631	△ 103,403,973	-9.1%
財産収入	111,990	79,375	32,615	41.1%
保険基盤安定繰入金	258,850,199	252,950,808	5,899,391	2.3%
出産育児一時金繰入金	12,320,000	11,200,000	1,120,000	10.0%
職員給与費等繰入金	78,540,200	72,711,000	5,829,200	8.0%
諸収入	39,363,893	22,583,260	16,780,633	74.3%
基金繰入金	66,324,000	59,065,000	7,259,000	12.3%
繰越金	283,099,191	144,819,342	138,279,849	95.5%
合計（収入済額 c）	6,178,640,950	6,155,125,033	23,515,917	0.4%

3 歳出決算の概況

平成29年度国民健康保険特別会計の歳出決算の状況は、予算現額 60 億 4,619 万 4,000 円、支出済額 59 億 828 万 4,888 円、不用額 1 億 3,790 万 9,112 円であります。

- ・支出済額 59 億 828 万 4,888 円は、前年度より 3,625 万 9,046 円（0.6%）増加しました。
- ・不用額 1 億 3,790 万 9,112 円は、前年度より 7,143 万 46 円（-34.1%）減少しました。
- ・予算現額に対する執行率 97.7%は、前年度より 1.2 ポイント上回りました。

歳出決算の概況

区分	平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	6,046,194,000	6,081,365,000	△ 35,171,000	-0.6%
支出済額 b	5,908,284,888	5,872,025,842	36,259,046	0.6%
不用額 a-b	137,909,112	209,339,158	△ 71,430,046	-34.1%
予算現額に対する執行率 b/a	97.7%	96.6%	1.2%	1.2%

支出済額 b 内訳

区分	平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
総務費	85,147,202	73,152,157	11,995,045	16.4%
保険給付費	3,414,265,667	3,502,977,169	△ 88,711,502	-2.5%
後期高齢者支援金等	587,662,628	607,567,301	△ 19,904,673	-3.3%
前期高齢者納付金等	2,161,545	441,335	1,720,210	389.8%
老人保健拠出金	10,109	15,886	△ 5,777	-36.4%
介護納付金	214,913,461	223,174,763	△ 8,261,302	-3.7%
高額医療費共同事業拠出金	148,550,304	140,289,115	8,261,189	5.9%
保険財政共同安定化事業拠出金	1,107,970,371	1,112,894,801	△ 4,924,430	-0.4%
その他共同事業拠出金	1,169	1,288	△ 119	-9.2%
特定健康診査等事業費	42,632,310	43,442,077	△ 809,767	-1.9%
保健事業費	16,449,222	16,670,234	△ 221,012	-1.3%
諸支出金	78,496,325	17,602,956	60,893,369	345.9%
公債費	42,575	21,438	21,137	98.6%
基金等積立金	209,982,000	133,775,322	76,206,678	57.0%
合計（支出済額 b）	5,908,284,888	5,872,025,842	36,259,046	0.6%

平成２９年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳入決算説明書

(※金額は、千円未満を省略して説明しています。)

1 款：国民健康保険税

- ・決算額は９億８千１２５万２千円で、対前年比では３千９５５万７千円の減。
- ・一般被保険者分の決算額は９億５千８７６万１千円、対前年比では２千１０５万３千円の減。
- ・退職被保険者分の決算額は２千２４９万円で、対前年比では１千８５０万３千円の減。
- ・退職者医療制度は、後期高齢者医療制度の開始により平成３１年度末での廃止が決定され、新規加入者がなくなり、被保険者減少が続いている。
- ・退職被保険者資格が喪失した後は一般被保険者に移行するが、２９年度は一般分、退職分ともに減額となっている。
- ・国保全体では被保険者の微減傾向のため、総額で減となった。

2 款：使用料及び手数料

- ・決算額は７５万６千円で、対前年比では４万５千円の減。
- ・証明手数料３００円以外は、全額督促手数料。

3 款：国庫支出金

- ・決算額は１１億７千９５万６千円で、対前年比では１億９千３９０万８千円の減。
- ・１項１目の療養給付費等負担金の決算額は７億４千８６７万２千円、対前年比では１億２千６６０万８千円の減。療養給付費等負担金は、医療費総額のおよそ３２％に相当する額が国より交付される負担金。超過交付が確定しており、平成３０年度におよそ４千万円を返還する。
- ・２項１目の財政調整交付金の決算額は３億７千３５９万３千円、対前年比で７千２８６万円の減。これまで東日本大震災の被災地に特別調整交付金が上乗せされて交付されていたが、平成２８年度から５年かけて２割ずつ削減されることになったことから、その減額の影響が大きい。

4 款：療養給付費交付金

- ・決算額は１億７７４万８千円で、対前年比では１億２千１８９万４千円の減。
- ・療養給付費交付金は、退職被保険者の医療費に充てるため社会保険診療報酬支払基金から交付される交付金。
- ・退職被保険者の減少により医療費も減少しており、交付金の減少が続いている。超過交付が確定しており、平成３０年度におよそ６６０万円を返還する。

5 款：前期高齢者交付金

- ・決算額は１７億５７０万８千円で、対前年比では３億２千１２２万６千円の増。
- ・前期高齢者交付金は、７０歳から７４歳の前期高齢者の医療費について、保険者間の財政負担額を調整するために交付される交付金。

6 款：県支出金

- ・決算額は3億2千35万6千円で、対前年比では4千6万7千円の増。
- ・2項1目の財政調整交付金の決算額は2億7千281万3千円で、対前年比では3千693万9千円の増。
- ・2項2目の一部負担金特例措置支援事業費補助金は、対前年比では58万1千円の増。

7 款：共同事業交付金

- ・決算額は11億5千325万3千円で、対前年比では1億5千757万3千円の減。
- ・1項1目の高額医療費共同事業交付金の決算額は1億2千189万9千円、対前年比では5千416万9千円の減。
- ・1項2目の保険財政共同安定化事業交付金の決算額は10億3千135万4千円、対前年比で1億340万3千円の減。

8 款：財産収入

- ・決算額は11万1千円で、対前年比では3万2千円の増。
- ・財政調整基金積立金の預金利子。

9 款：繰入金

- ・決算額は4億1千603万4千円で、対前年比では2千10万7千円の増。
- ・1項1目一般会計繰入金の決算額は3億4千971万円、対前年比では1千284万8千円の増。これは1節の保険基盤安定繰入金が2億5千885万円で、対前年比では589万9千円の増。3節の職員給与費等繰入金が7千854万円で、対前年比では582万9千円の増、国保担当職員の増員等による増額のため。
- ・2項1目の基金繰入金の決算額は6千632万4千円、対前年比では725万9千円の増。

10 款：繰越金

- ・決算額は2億8千309万9千円で、対前年比では1億3千827万9千円の増。
- ・1項1目1節の療養給付費交付金繰越金は、平成28年度の4款の療養給付費交付金を精算した結果超過交付となり、返還となったため274万9千円となっている。
- ・1項1目2節のその他繰越金は、そのほとんどを基金に積み立てた。

11 款：諸収入

- ・決算額は3千936万3千円で、対前年比では1千678万円の増。
- ・3項3目の一般被保険者返納金の決算額は198万円、対前年比では182万2千円の増。これは資格喪失後の受診により、本来市が負担すべきではない給付を本人へ請求し返納された分です。
- ・3項5目の雑入の決算額は1千32万9千円、対前年比では1千30万1千円の増。内訳は保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業の廃止・清算に伴う返還金が680万1千円、診療報酬支払手数料精算返還金が328万2千円、特定健診等費用手数料返還金が24万5千円となっています。

平成29年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳出決算説明書

(※金額は、千円未満を省略して説明しています。)

1 款：総務費

- ・決算額は8千514万7千円で、対前年比では1千199万5千円の増。
- ・国保担当職員が1名増となったため、人件費が増加した。

2 款：保険給付費

- ・決算額は34億1千426万5千円で、対前年比では8千871万1千円の減。
- ・1項の療養給付費の決算額は29億8千550万9千円で、対前年比では6千798万5千円の減。平成28年12月の薬価基準の改定により大幅な医療費削減となり、およそ1億1千万円の予算残となった。
- ・2項の高額療養費の決算額は4億919万6千円で、対前年比では2千393万2千円の減。高額薬価の引き下げ等により医療費が減少したことに伴い高額療養費も減少しているが、2目の退職被保険者等高額療養費が954万2千円で、対前年比で2千161万7千円減少していることが大きい。
- ・4項の出産育児諸費の決算額は1千758万円で、対前年比では293万5千円の増。支払件数は42件で前年度より7件増加している。
- ・5項の葬祭費の決算額は198万円で、対前年比では27万円の増。支払件数は66件で、前年度より9件増加している。

3 款：後期高齢者支援金

- ・決算額は5億8千766万2千円で、対前年比では1千990万4千円の減。前々年度の精算還付金およそ7千147万円が今年度の支援金から控除されたため、前年度決算を大きく下回った。

4 款：前期高齢者納付金

- ・決算額は216万1千円で、対前年比では172万円の増。

5 款：老人保健拠出金

- ・決算額は1万円で、対前年比では5千円の減。

6 款：介護納付金

- ・決算額は2億1千491万3千円で、対前年比では826万1千円の減。介護保険第2号被保険者の減少が続いていること、前々年度の精算還付金およそ3千812万円が今年度の納付金から控除されたため、前年度決算を大きく下回った。
- ※3款の後期高齢者支援金から6款の介護納付金までの支出については、いずれも法令等に基づき、社会保険診療報酬支払基金に支払ったものです。

7 款：共同事業拠出金

- ・決算額は12億5千652万1千円で、対前年比では333万6千円の増。
- ・1目の高額医療費共同事業拠出金の決算額は1億4千855万円で、対前年比では826万1千円の増。
- ・2目の保険財政共同安定化事業拠出金の決算額は11億797万円で、対前年比で492万4千円の減。
- ・現在、一般被保険者のすべての医療費が共同事業拠出金の対象になっていることから、高額医療費共同事業拠出金が増え、保険財政共同安定化事業拠出金が減ったということは、県下としては高額レセプトが増加している。

8 款：保健事業費

- ・決算額は5千908万1千円で、対前年比では103万円の減。
- ・1項1目の特定健康診査等事業費の決算額は4千263万2千円で、対前年比では80万9千円の減。特定健診の受診数は3,624人で、対前年比で21人の減のため減額となった。
- ・2項2目の疾病予防費の決算額は1千254万4千円で、対前年比では55万6千円の減。人間ドックの受診者数は355人で対前年比で18人の減、若年者健診の受診者は115人で対前年比で15人の減のため減額となった。

9 款：基金積立金

- ・決算額は2億998万2千円で、対前年比では7千620万6千円の増。
- ・現在の基金積立額は6億7千999万7千円です。

10 款：公債費

- ・決算額は4万2千円で、対前年比では2万1千円の増。
- ・これまでは一般会計と他会計の財布がひとつで管理されていたことから、資金不足の一時借入金を一般会計で行っていたが、平成28年度から資金不足の一時借入金はそれぞれの会計毎に行うことになった。

11 款：諸支出金

- ・決算額は7千849万6千円で、対前年比では6千89万3千円の増。
- ・1項3目の償還金の決算額は7千290万2千円で、対前年比では6千517万9千円の増。償還金は前年度の交付金や補助金の精算返還金です。内訳は、国への返還金が7千15万3千円、支払基金への返還金が274万9千円です。前年度は、国への返還金が748万円、県への返還金が24万で合計772万円を返還しました。
- ・2項1目の一般会計繰出金の決算額は255万円で、対前年比では233万3千円の減。一般会計繰出金は前年度の一般会計繰入金の精算返還金です。3月補正時点でこれまでよりも予算の精査を行ったため、前年度に比べ大幅減となりました。

平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳入補正予算説明書

1 第1号補正（6月補正）

240万2千円の減額補正

6 款：繰入金

- ・補正額は240万2千円の減。人事異動に伴う人件費に係る職員給与費繰入金の減額です。

2 第2号補正（9月補正）

2億7千167万1千円の増額補正

6 款：繰入金

- ・補正額は131万8千円の増。職員人件費補正に係る職員給与費繰入金の増額です。

7 款：繰越金

- ・補正額は2億7千35万3千円の増。平成29年度決算に係る繰越金です。退職者医療の療養給付費交付金の返還金については別建てで繰越すこととされており、1節の療養給付費交付金繰越金で664万6千円を増額、2節のその他繰越金で2億6千370万7千円を増額するものです。

平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳出補正予算説明書

1 第1号補正（6月補正）

240万2千円の減額補正

1 款：総務費

- ・補正額は240万2千円の減。人事異動に伴う人件費の減額です。

2 第2号補正（9月補正）

2億7千167万1千円の増額補正

1 款：総務費

- ・補正額は131万8千円の増。人件費（時間外手当）及びシステム改修費の増額です。

6 款：基金積立金

- ・補正額は2億2千108万5千円の増。平成29年度決算に係る繰越金のうち交付金や補助金の返還金などを差し引いた本金額を基金に積み立てるものです。
- ・現在の基金積立額は6億7千999万7千円ですが、今年の当初予算において4千621万3千円を取り崩すことにしており、その後本金額の積立を行うことから来年の5月末の基金残額は8億5千487万円になる見込みです。

8 款：諸支出金

- ・補正額は4千926万8千円の増。
- ・1項の償還金の補正額は3千925万1千円の増。内訳は、国及び県への療養給付費等負担金返還金など3千988万1千円、支払基金への退職者医療交付金返還金664万7千円です。
- ・2項1目の一般会計繰出金の補正額は274万円の増。内訳は、職員給与費等繰入金返還金が213万5千円、出産育児一時金繰入金返還金が60万5千円です。